

～保育士が働きやすい職場づくりに向けた取り組み 好実践事例～

★CASE 11★

島根県社会福祉協議会 島根県福祉人材センター

隠岐共生学園第二保育所(隠岐の島町)

隠岐共生学園第二夜間保育所(隠岐の島町)



☆ 高梨 久美子先生の略歴 ☆

S56年保育士として隠岐共生学園に入職。S62年に退職しH8年再入職し、平成24年から「第二夜間保育所」所長を務め、平成30年より「第二保育所」所長に就任。



☆ 脊戸美佐香先生の略歴 ☆

S63年から保育士として隠岐共生学園に入職。H30年より第二夜間保育所」所長に就任。

【保育所DATA】

- 所在地: 隠岐郡隠岐の島町下西吉賀166-2
- 法人名: 社会福祉法人隠岐共生学園隠岐第二保育所
- 定員 : 160名
※平成31年1月9日時点で、在籍数173名
- 職員構成
 - ・正規職員 16名
 - ・臨時職員 7名
 - ・パート職員 5名
 - ・保育補助員 3名(子育て支援員等含)
 - ・看護師 2名
 - ・事務職 1名
- 法人内他施設
 - ・第一保育所
 - ・乳児保育所
 - ・地域子育て支援センター(併設)

○ 所長が大切にしていること

家庭も大切に、仕事も大切に
そして、楽しみながら保育をすること。

【保育所DATA】

- 所在地: 隠岐郡隠岐の島町下西吉賀166-2
- 法人名: 社会福祉法人隠岐共生学園隠岐第二夜間保育所
- 定員 : 20名
※平成31年1月9日時点で、在籍数20名
- 職員構成
 - ・正規職員 5名
 - ・臨時職員 1名(看護師・事務職含)
- 法人内他施設
 - ・第一保育所
 - ・乳児保育所

○ 所長が大切にしていること

職員がお互いにコミュニケーションがとれるよう
に笑顔で挨拶をすることを大切にしています。

保育士がいきいきと働ける環境を整備するために

○職員一人ひとりの「思い」や「発想」を大事にする

子どもたちが喜ぶ姿を想像しながら、職員一人ひとりが楽しみ保育をするために、所長として、職員自身の「やってみたい」という思いを大事にしています。

具体的には、各クラスや各年齢で計画したことが実践できるように、主任を中心として、すべての職員がアドバイスをしたりサポートができる環境づくりをおこなっています。

このことで、職員から自由で豊かな発想が生まれ、それらを具現化していくことで子どもたちと一緒にあそびを楽しみ、保育を楽しむことができています。

職員自身が保育を楽しむことで余裕が生まれ、子どもたちの成長にも大いに役立っています。

○「お互い様」の環境で家庭と仕事の両立をサポート

子育て真っ只中の「お母さん保育士」が多く、お子さんの保育所・学校行事などや、急な体調不良により休みが必要な時があります。

その際は、主任が体制をすぐに調整し、フォローする仕組みが確立しています。独身の保育士も子育てを終えた保育士もすべての保育士が「お互い様」の精神で快く協力し合い、安心して休みが取れる環境をつくっています。

隠岐共生学園での取り組みの一例

★子育て支援手当の支給

子育て世帯には、ひと月あたり10,000円(正規職員)支給されます。

※正規職員以外の場合は、5,000円



園での取り組み紹介①「島根県福祉サービス第三者評価」を受審し、保育資質の向上

平成29年度に島根県福祉サービス第三者評価を受審しました。受審することに不安はありましたが、自己評価のみではなく第三者の目を通して、自園がどのような評価を受けるかを知ることは重要であると考えたからです。

調査は、職員や保護者、事業者訪問調査がおこなわれ、とても多くの項目で評価を受けました。

第三者評価を受け特に良かった点は、自園がどのような園なのかを全職員で話し合い、良い点や具体的な改善点が明確になったことです。

評価を基に、法人として組織として、「どんな保育をしていきたいか？」を職員全員で本気で話し合い、目標を達成するための具体的な方策やプロセスが盛り込まれた事業計画の策定に結び付けました。また、職員全体またはグループ間で話し合う機会が増え、職員一人ひとりが高い意識をもって、話し合いに参加することで、法人の基本理念「共生（ともいき）の精神を基調とする」に基づく保育につながっています。

第三者評価を受審したことで、自園を客観視でき、現状把握をするとともに、改善点を明確にできました。あくまでこれはスタートであり、より一層質の高い保育所を目指して改善に向かっていきます。

地域の保育所として、今まで以上に地域の方々との喜びを分かち合える保育所でありたいと思います。

園での取り組み紹介②「研修会の参加」を通じて、職員のスキルアップ

正規職員は、島内・島外の研修会へ各1回ずつは参加するようにしています。また、臨時職員やパート職員に対しても、研修会の積極的な参加を呼び掛けています。

さらに、法人内4園合同研修として、外部から講師を招いて、「職員研修会」をおこなっています。その研修では、保育士のエピソード記述を通して保育を振り返り、「保育の悩み」、「保育士の悩み」を共感し、時間を忘れて語り合い、「子どもの育ち」を追求することで、保育の質の向上につながっています。

☆職員の声☆



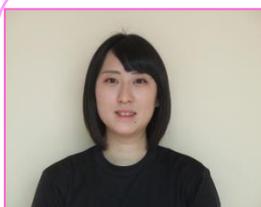
山口 瞳先生

- ・保育士歴：14年
- ・0歳児を担当
- ・小学1年生と5歳の子どもがいます

短大卒業後、大好きな隠岐に帰り夢だった保育士の仕事を続けています。

子どもたち一人一人を大切に日々保育するうえでは大変なこともたくさんあったり、悩むことも多いです。それでも上司からアドバイスをいただいたり、同僚やクラスの先生と相談し、助け合いながら保育を行ない、子どもたちからもたくさんパワーをもらって、やりがいを感じています。

これからも先輩保育士に教えていただいたことを伝えていき、協力しながら隠岐ならではの保育をしていきたいと思っています。



崎田 綾先生

- ・保育士歴：7年
- ・2歳児を担当

子供が好きで、中学生のころから保育士になりたいと思っていました。

松江の短期大学で保育士と幼稚園教諭の免許を取得し、共生学園の募集をみて「隠岐で保育士になりたい！」とすぐに受験し、就職しました。

保育士の仕事は、とてもやりがいのある仕事です。子どもたちの成長していく姿を見ると『保育士になってよかった』と心から思えます。また、子どもたちと一緒に思い切り遊んだり生活を共にすることで、毎日笑顔で過ごせます。また、職員同士で子どもの成長について話し合ったり、可愛らしいエピソードを共感し合うことも私にとって大切な時間です。

職場の雰囲気は明るく、職員同士いつも声を掛け合ってお互いを気かけたり、団結力やチームワークが素晴らしい保育所です。

地域の方々との一コマ

♪ 保育っていいな ♪ ～日々の1コマより～

おおきくなあれ！



かっこいいでしょ！！

